

広島県森林協会報

題字 正木 完

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-23 林業ビル5階 (一社) 広島県森林協会 編集責任者 小松 光二郎
TEL 082-221-7191 FAX 082-221-7194 E-mail:mori-101@giga.ocn.ne.jp http:// www.hsk.ecweb.jp/

第44号



(広島市西区竜王公園から望む初日の出)

目次

平成28年新年のごあいさつ			
農林水産局長	2	平成27年度林道施設災害発生状況とその復旧	9
一般社団法人広島県森林協会会長	3	平成28年度公益目的支出計画(案)の内容	10
広島県森林土木建設事業促進協議会会長	4	森林づくりリーダー養成研修会	11
平成27年度治山・林道工事コンクール	5	自主防災組織育成支援事業募集について	12
平成28年度林野関係予算概算決定の概要	7	ようこそ『広島県森林協会』ホームページへ	14
平成27年度山地災害発生状況とその復旧	8	森林協会等の今後の行事	16

『 養おう 山の異変に 気付く目を 』

平成27年度山地災害防止標語コンクール最優秀賞(林野庁長官賞) 愛知県岩倉市 脇川一也さん

新年のごあいさつ

広島県農林水産局長 寶来 伸夫



平成28年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

皆様方には、平素から治山・林道・造林・自然公園事業等の推進を通じて、本県農山村地域の振興をはじめ、安全で豊かな県土づくりに御尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、一昨年8月の広島市の土砂災害に続き、昨年も9月に関東地方及び東北地方で豪雨災害が発生するなど、山地災害防止機能等の森林の有する多面的機能の維持・発揮や総合的な治山対策等の重要性がますます認識されているところです。

また、昨年は、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定が大筋合意に至ったことから、林業及び木材産業においては、為替や国際的な需給動向の変化に加え、これらの影響にも注視が必要な状況となっております。

こうしたことから、本県では、まず一昨年8月の土砂災害の被災地域における防災施設整備について、「8.20土砂災害 砂防・治山に関する施設整備計画」に基づき計画的に事業を進めることとしており、このうち、県が実施する治山事業については、緊急事業12箇所について今年度中の完成を目指し順調に事業を実施しているところです。更に通常事業8箇所についても、地元調整等が整った箇所から順次工事に着手しているところであり、引き続き、国・広島市と連携を図りながら、被災地の一日も早い復旧・復興に取り組んで参ります。

また、公益的機能の低下が懸念される森林については、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して人工林の間伐や里山林整備を推進しておりますが、本年は、「ひろしまの森づくり事業」が第2期の最終年度となることから、これまでの事業成果の検証を行った上で、今後の事業の進め方について検討を行うこととしております。

次に、本県では、昨年度策定した「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム」に基づき、県産材の需要拡大と安定供給体制の構築により、県産材の競争力を強化する施策を進めているところです。

具体的には、①住宅の主要構造部材の県産材シェアを拡大する取組、②中大規模建築物の木造・木質化に精通した建築士の育成や木質バイオマスの流通拠点施設の整備などの新たな木材需要に対応するための取組、③加工・流通・生産の各段階の効率化を進める取組など、「競争力のある県産材の供給体制の構築」に取り組んでおります。また併せて、今後の主伐期到来を見据え、森林資源の循環利用を図るため、再生林を推進する仕組づくりに取り組んで参ります。

加えて県営林事業については、「第一期県営林中期管理経営計画」に基づき、木材の伐採・搬出・流通コストの削減と販売力の強化に取組み、一層の経営改善を進めて参ります。

こうした施策を着実に実施するためには、貴協会並びに会員の皆様方との緊密な連携が不可欠と考えておりますので、本年も、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

新しい年の門出に当たり、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

一般社団法人 広島県森林協会 会長理事

東広島市長 藏田 義雄

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新しい年を迎え、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素から一般社団法人広島県森林協会の業務、とりわけ治山事業・林道事業の推進につきまして格別の御支援と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会は、昭和31年に設立し、昭和52年に社団法人として改組以来、広島県の森林・林業の振興発展のため、県・市町村、関係団体等と一体となり半世紀を超えて活動して参りました。

さらに、平成24年6月、公益法人制度改革に基づき、「一般社団法人」へ移行いたし、現在4年目を迎え、各種公益目的事業にも取り組んでいるところです。

これもひとえに、会員であります市町・森林組合や県及び関係各位の皆様の御協力と御指導によるものと、深く感謝申し上げます。

今後とも会員の皆様をはじめ、各方面の皆様とともに地域振興のため、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

さて、政府による金融・税制・財政など各種経済対策の導入により、徐々にではありますが厳しかった日本経済にも明るい兆しが見え、森林分野においても林業の成長産業への掛け声の下、森林施策の充実が図られつつあります。

一昨年の広島市の土砂災害はいまだ私たちの記憶に新しいところですが、関係者のご努力により、本格的な復旧事業が進みつつあります。しかし昨年も茨城県などを中心とする関東・東北豪雨災害、台風災害など異常気象の連続で、全国で大きな自然災害が発生しております。改めて、山地災害への備えのためには、継続的な森林整備が重要であることが再認識されます。

森林協会としても、国・県の災害復旧施策に積極的に協力するとともに、防災や水源涵養など森林の公益機能の維持発揮をもたらす林業施策の普及啓発の重要性に鑑み、これまで以上に、地域の安全・安心を確保する森林整備事業、治山・林道事業の推進に取り組んで参ります。

このため、公共事業の実施に伴う、森林・治山・林道の測量設計調査受託業務を着実に実施しますとともに、「一般社団法人」への移行に伴う「公益目的事業」においては、自主防災組織への助成金支援、森林・林業に関する指導者育成事業などを、広く県民の皆様にも周知を図りながらこれまで以上の推進に努めるとともに、法人組織の経営安定化に向け効率的な運営努力を継続して参る所存でございます。

終わりになりましたが、会員の皆様にとって本年がより良い年となりますようご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



広島県森林土木建設事業促進協議会

会 長 佐々木 徹

(広島県森林組合連合会会長)

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から広島県森林土木建設事業促進協議会の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

会員の皆様方には、これまでの公共事業予算削減の厳しい状況の中で、県民の安全・安心の要である治山施設等の整備、さらに地域林業に欠かせない森林基盤整備のためにご努力いただき、心より敬意を表する次第です。



一昨年の『広島市土砂災害』や昨年の『関東・東北豪雨災害』など、近年、全国で発生する豪雨災害では甚大な被害がもたらされており、改めて治山治水対策の重要性を痛感するところで、被災地の一日も早い復興のため、引き続き皆様方のご支援をお願いします。

国の動きを見ますと、TPP関連や地域の活力創造などの施策が図られる中、2020年東京オリンピックスタジアムが「杜のスタジアム」として木材利用が決まり、CLTパネル工法の推進などで建築分野での木材利用が進み、森林・林業さらには森林土木事業の分野にも波及するとの期待が強まっています。一方では、景気回復による物価・賃金上昇が、建設業界においても適正に反映され、公共工事の品質確保及び適正な利潤の確保が図られるかが大きな課題でもあり、動きを注視するとともに必要な行動をとって行きたいと思っています。

広島県農林水産局におかれましても、引き続き国の施策に呼応して、農林水産行政の基本指針となる「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン・アクションプログラム」に基づき、県産材の需要拡大と安定供給体制の構築により、県産材の競争力を強化する取組みが着実に進むことを期待しています。

広島県森林土木建設事業促進協議会では、森林土木事業関連予算の確保について関係する県内の団体と連携を密にするとともに、中央団体である(一社)全国森林土木建設業協会と連携して、林野庁や広島県に対して事業の必要性や予算確保を訴えるなど、今後とも、地域の森林・林業発展のため、会員一体となって努力して参ります。

終わりに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



平成27年度 治山・林道工事コンクール

(一社)日本治山治水協会及び日本林道協会主催の「平成26年度治山・林道工事コンクール」表彰式が、平成27年11月17日に東京都千代田区ルポール麹町で開催されました。

本県からは、広島県森林土木建設事業促進協議会と共催で実施した治山・林道コンクールの中から、治山工事関係2点、林道工事1点を県代表として推薦し、次のとおり受賞されました。

民有林治山工事コンクール部門 日本治山治水協会長賞 三宅建設株式会社(庄原市)



受賞された
久永 茂 様

民有林治山木材使用工事コンクール部門 日本治山治水協会長賞 株式会社 青木建設(東広島市)



受賞された
青木 鐵夫 様



民有林林道工事コンクール部門 日本林道協会長賞 株式会社 美和建設(北広島町)



また、平成27年度林道維持管理コンクールでは庄原市「界谷小峠その1線」が、林野庁長官賞を受賞されました。



平成27年度林野関係補正予算の概要

平成27年12月18日に閣議決定した国の今年度補正予算では、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく施策等の推進や「防災・減災対策等」の推進対策として、森林・林業育成対策や森林整備事業、災害復旧関連などが盛り込まれ、約592億円が追加されています。

1 林野関係補正予算 592億円 (前年度補正824億円) (単位:百万円)

項 目	補正追加額		
	非公共	公 共	合 計
合板・製材の国際競争力の強化			
合板・製材生産性強化対策事業【基金化】	29,000		29,000
違法伐採緊急対策事業	200		200
木材製品輸出特別支援事業	100		100
地域材利用拡大緊急対策	1,800		1,800
森林・林業人材育成対策	300		300
鳥獣被害防止対策の推進	100		100
森林整備事業・治山事業 (公共事業)			
森林整備事業		17,066	17,066
治山事業		4,944	4,944
山林施設災害復旧等事業		5,686	5,686
計	31,500	27,696	59,196

(参考) 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。

(1) 森林・林業人材育成対策 (非公) 3億円 (前年度補正 3億円)

新規林業就業者の確保ため、トライアル雇用 (林業への就業希望者の短期小用) 等を支援

(2) 森林整備事業 (公共) 171億円 (前年度補正74億円)

森林の水土保全機能を強化するための間伐等の森林整備を推進

(3) 治山事業 (公共) 49億円 (前年度補正31億円)

集中豪雨等による被害が住宅・公共施設等に及ぶ恐れのある地域における山地災害対策等を推進

平成28年度林野関係予算概算決定の概要

平成27年12月24日に閣議決定された平成28年度予算概算額は、林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進を目指して次のとおり決定されました。

1 林野関係予算総括表 2,933億円

(単位:百万円,%)

区 分	27年度 当初予算額	28年度		27年度
		概算決定額	当初比	補正額(再掲)
公共事業費	191,830	189,983	99.0	27,696
一般公共事業費	181,856	180,009	99.0	22,010
治山事業費	61,570	59,723	97.0	4,944
森林整備事業費	120,286	120,286	100.0	17,066
災害復旧等事業費	9,974	9,974	100.0	5,686
非公共事業費	98,533	103,300	104.9	31,500
総 計	290,363	293,283	101.0	59,196

(注) 1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に林野関係事業が措置されている。

2 主な予算の内容

()内は前年度予算額

① 治山事業(公共) 597億円(616億円)【補正予算49億円】

集中豪雨・地震等に起因する激甚な山地災害の発生リスクの増大を踏まえ、事前防災・減災のため、荒廃山地の復旧整備や水土保全機能が低下した森林の整備に加え、予防治山対策を強化する予算が組まれています。

② 森林整備事業(公共) 1,203億円(1,203億円)【補正予算171億円】

施業の集約化を図り、間伐やこれと一体となった路網の整備、主伐後の再造林等の推進。その際、列状間伐等による効果的な間伐や伐採と造林の一貫作業システムの導入を通じた森林整備の低コスト化により、面的な森林整備を簾新するとともに、林業専用道の防災機能を強化する予算が組まれています。

③ 次世代林業基盤づくり交付金(非公共) 61億円(27億円)

需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給を実現するため、間伐・路網整備やCLT(直交集成材)等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備など地域の実情に応じた川上から川下までの取組みを総合的に支援する予算が組まれています。

④ 森林・山村多面的機能発揮総合対策(非公共) 25億円(25億円)

森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援する予算が、引続き組まれています。

⑤ 森林・林業人材育成対策(非公共) 59億円(61億円)【補正予算3億円】

林業への就業前の青年に対する給付金の給付や、「緑の雇用」事業の拡充等による人材の育成を支援する内容となっています。

平成27年度 山地災害発生状況とその復旧

広島県農林水産局森林保全課 治山グループ

1 山地災害発生状況

本県における山地災害発生状況は11月末現在9箇所、被害額2千9百万円余の山地災害が発生しており、その内訳は下表及び次のとおりです。

5月台風6号により1箇所、被害額1千5百万、7月豪雨により5箇所、被害額1千万余、8月豪雨により3箇所、被害額4百万余となっています。

昨年度は、8月の広島市の豪雨災害など大規模な災害があり、甚大な被害が発生しましたが、今年度は比較的規模の小さいものが大半を占めており、幸いにも人的被害は発生しておりません。

2 復旧対策

緊急を要する箇所については、単県事業である治山施設機能強化事業及び小規模崩壊地復旧事業において対応していただいているところです。

その他の箇所についても、緊急性や事業実現性等により優先順位を定めながら、次年度以降、順次施工することとしております。

3 減災対策

治山グループでは、山地災害危険地区の情報を各市町へ配布しております。地域防災計画への掲載やハザードマップの基礎資料として活用していただきたいと思います。

また、山地災害予知システムの雨量情報を広島県ホームページ「広島県防災Web」に掲載しています。土砂災害危険度情報と合わせ、市町が避難勧告等、災害応急対応を適切に行うための指標として活用していただきたいと思います。

4 治山施設の整備

治山事業は、森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。

今後とも、激甚災害の復旧を最優先とし、被災箇所の復旧に取り組みながら、災害のおそれのある箇所についても優先度判定を行い、計画的な事業執行及び災害の防止に努めて参りたいと考えています。



広島市安佐北区可部町桐原 (H26.8 豪雨災害 復旧状況)

災害名	箇所数	被害額(千円)	主な市町
5月12日発生台風6号災害	1	15,000	福山市
7月9日, 11日発生梅雨前線豪雨災害	4	9,500	世羅町, 三次市, 庄原市
7月12日発生梅雨前線豪雨災害	1	1,000	北広島町
8月12日発生豪雨災害	1	2,600	廿日市市
8月25日発生豪雨災害	1	600	安芸太田町
8月31日発生豪雨災害	1	1,000	熊野町
計	9	29,700	

平成27年度 林道施設災害発生状況とその復旧

広島県農林水産局林業課 林業基盤グループ

1 はじめに

平成26年度は、7月7日の豪雨により廿日市市で林道施設災害が発生し、その後も安芸高田市や庄原市においても林道施設災害が発生しました。そして、8月20日に広島市北部で発生した豪雨災害により、74名もの貴い命が犠牲となり、また林道施設においても甚大な被害が発生したところです。

一方、今年度は、県西部において6～9月に平年以上の降雨量を記録したものの、幸いなことに林道施設災害は発生しませんでした。

2 林道施設災害の復旧状況

「平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害」により、広島市等で14路線、45箇所、1億4千万円の林道施設災害が発生し、国庫補助事業により7路線、12箇所、1億3千万円の復旧工事を実施することとしました。被災箇所の規模が比較的大きく、技術的に計画が困難な箇所や、他所管の災害復旧工事との調整が必要な箇所等、課題の多い事業も多かったのですが、関係者の御尽力により、順調に復旧が進んでおり、今年度中には一定の目処がつく見込みです。



平成26年に被災した広島市安佐北区福王寺線の状況(左)及び復旧状況(右)。
林道法面上部で発生した山腹崩壊により、路肩及びガードレール等が損傷した。大型ブロックにより復旧を行った。

3 近年の災害の発生状況

林道施設災害は、ほぼ毎年発生していますが、近年は、これまでに経験したことの無いような大規模な豪雨が頻繁に発生しており、被災規模も甚大なものとなっています。平成22年に発生した「7.16庄原ゲリラ豪雨」により大規模な災害が発生したことは記憶に新しいところです。

【過去5年の林道施設災害発生状況】

年度	路線数	箇所数	延長(m)	被害額(百万円)	主な被災市町	備考
H22	109	581	12,514	1,013	広島市, 呉市, 庄原市	7.16庄原ゲリラ豪雨
H23	46	144	3,639	155	廿日市市, 安芸太田町	
H24	9	21	260	90	安芸太田町	
H25	12	33	373	52	三次市, 安芸太田町	
H26	25	94	2,488	191	広島市, 庄原市	平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害

4 おわりに

災害が発生した場合、現地確認、災害報告、復旧計画策定及び災害査定等の一連の対応を短期間で着実に実施し、速やかに復旧工事にとりかかる必要があります。被災直後に、現場状況を早期且つ的確に把握することは、その後の全ての対応を効率的に実施することにつながります。関係者の皆様におかれましては、それぞれの役割を十分に御理解して頂き、適正な対応に努めていただければ幸いです。

平成28年度公益目的支出計画（案）の内容

平成28年度に実施する「公益目的事業」にかかる研修会・講演会、助成事業等については、次表のとおり計画しております。それぞれの行事について、開催時期を考慮しながら、森林協会ホームページや関係機関等を通じてお知らせしますので、興味・関心のある方は、ぜひ参加してください。なお、内容は変更することがあります。

事業名	事業内容	実施時期等	備考
1 森林・林業に関する指導者育成事業	県民参加の森林づくりを促進するため指導者を育成する		
森林・林業に関する指導者育成研修会	小学校教育関係者等を対象に森林の働きや野外活動などの知識習得を目指した研修会を開催する	7月30日（土）もみのき、 7月31日（日）県民の森 2回開催 定員は各20名	4月下旬公開 申込期限は 7月15日（金）迄
森林づくりリーダー養成研修会	県民を対象に、森林・林業の正しい知識を付与し、森林利用に関わる思想の高揚と林業に対する知識の向上を図る研修会を開催する	9月10日から10月2日 までの土・日曜日で計6日間 県内在住の20歳以上の方 定員は20名	5月下旬公開 申込期間は 6月20日（月）～ 8月19日（金）迄
2 県民参加の森林づくりに関する普及啓発事業	県民参加の森林づくりへの意識啓発を図るため、林業専門誌の発行、普及図書の配布、「みどりの集い」を開催する	情報誌の発行・配布（毎月） 図書の配布（随時） みどりの集い（4月29日）	
3 治山・林道施設等の調査事業及び自主防災組織育成事業	山地災害の未然防止と被害拡大を抑えるため、施設及び周辺の調査と、地域で効率的な活動を行う自主防災組織を育成する		
施設及び周辺地域の調査事業	治山・林道施設及び周辺地域を定期的に調査し、異常の早期発見に努める	巡回調査及び異常気象時の点検調査 （6月～翌年5月末まで）	
防災組織の育成事業（防災講演会の開催）	地域が連携した危機管理対応のあり方等、自主防災意識を啓発する講演会を開催する	6月中旬開催予定、 場所： 広島市 200名 講演会講師（未定） 自主防災組織活動報告など	4月上旬公開予定
自主防災組織育成支援事業（組織の育成）	地域で自主防災活動を目標としたグループに対して、その活動を支援する 1グループ上限15万円	5月下旬選考委員会で審査 6月1日より事業実施	3月上旬公開 3月11日（金）～ 5月20日（金） 迄の間募集
4 治山・林道等に関する技術研修事業	市町の職員を対象として、技術向上を図るための研修会を開催する	4月 市町新任者基礎研修 5月 県予算説明 6月 治山・林道担当者研修 10月 測量実地	日程決定の都度、 案内通知します

平成27年度森林づくりリーダー養成研修会(延べ6日間)を開催

森林・林業への理解や県民参加の森林づくりの促進を目的として、森林の案内や野外活動等の指導技術の習得を目指した研修を行うもので、7名の参加者が熱心に講義や野外活動に取り組みました。

全ての課程を修了された6名には修了証書が授与され、全国森林レクリエーション協会が実施する「森林インストラクター資格試験」の一部(実技試験)免除の対象者として登録を行いました。



2015. 9. 26~27 もみのき森林公園 野外活動、野外ゲームの指導



2015. 10. 3~4 中央森林公園 植物・樹木観察、野生動物観察



2015. 10. 10~11 広島県緑化センター 野生きのこ判別、森林保育実習

平成28年度自主防災組織育成支援事業募集について

自主防災組織育成支援事業について、平成28年3月11日から募集を開始する予定で、3月上旬に市町の防災担当課へお知らせします。平成28年度の実施内容については次のとおりとしています。

1 申請者の条件

山地災害（溪流や山腹から発生する山崩れ、地すべり、土石流等の災害）の未然防止に加えて、災害が発生した場合、住民の避難等をサポートするなど、被害を最小限に抑止する活動を行う自主防災組織を育成支援するものです。

次の要件を満たす広島県内のグループ等とします。

- (1) 地域での自主防災を目的とし、政治的・宗教的宣伝又は営利活動を目的としないこと。
- (2) 自主的、組織的な活動で、申請した事業を完遂することができること。
- (3) 交付金の使途に係る条件順守が確実であること。
- (4) 規約、会員・役員名簿を備え、継続的な活動計画があること。

2 事業実施に係る留意事項

- (1) 他の助成事業と重複している場合は採択しません。
- (2) 新規応募団体を優先します。また、継続の場合は2年までとします。
- (3) 山地災害に重点を置いた団体を優先します。
- (4) 機械器具・資材購入だけではなく、研修会、訓練等を組合わせた事業を行う団体を優先します。
- (5) 事業の実施に当たっては、グループの中から5名以上の参加を必要とします。
- (6) 実施報告書の提出期限は、事業完了後1ヶ月以内とします。
- (7) 事業収支に係る証拠書類は各グループで整理、保管してください。
- (8) 事業内容を変更する場合は、必ず事前に協議が必要です。
- (9) 申請書はできるだけ具体的に記載してください。
- (10) 自主防災組織の区域及び活動場所を示した地図（任意）を添付してください。

3 応募の期間

平成28年3月11日（金）から 平成28年5月20日（金）までとします。

応募は各市町担当課（自主防災担当）を経由して、自主防災組織育成支援事業申請書を提出してください。

4 事業期間

平成28年6月1日から平成29年3月31日までに完了するものとします。

5 交付金の助成額

一グループにつき、原則として**15万円**を上限とします。

6 交付の対象経費

交付の対象となる経費は次のとおりです。

事業内容	区分	細分	備考(積算根拠)
設立経費	会場費	施設借上げ等	打合せ会場借上げ料
マップ作成	会場費	施設借上げ等	打合せ会場借上げ料
	資材費		作成に要する資材
	作成費		マップ印刷等
研修会・訓練等開催	会場費	施設借上げ等	研修会会場借上げ料
	謝金等		講師に対して(旅費を含む)
標識設置	資材費		標識等の資材
	標識板作成費		
	保険料		標識設置作業傷害保険料
避難経路	資材費		維持管理に要する資材
	保険料		維持管理作業傷害保険料
機材導入	機械・器具	購入	チェーンソー、刈払機等(高価な機械器具等の購入及び個人所有のものは除く)
		借上げ	チェーンソー、刈払機等
事務費	事務用品費		
	印刷費		チラシ等の印刷
	通信費		
その他			(弁当代は助成対象外経費)

(注) 1 次の経費は交付の対象となりません。

事業へ参加するグループ員の賃金・旅費、飲食費、備蓄食料の購入

2 高価な機械器具購入とは、単価5万円以上の機材の複数購入や助成額15万円を超える機材の購入とします。

3 機械器具・資材の購入、標識板作成・印刷など外注するものは、見積書かカタログ(価格表示のある)を添付してください。

7 事業の採択

事業の採択・不採択については、選考委員会の審査を経て決定し、申請者に通知します。

結果の通知は、平成28年6月上旬となります。

なお、交付金の適正な用途について、条件を付することがあります。

8 問合せ先

(一社) 広島県森林協会

〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-23

電話082-221-7191 FAX082-221-7194

<http://www.hsk.ecweb.jp/> (要領等は公開後、こちらからダウンロードできます。)

ホームページ先頭画面

ようこそ、『一般社団法人 広島県森林協会』のホームページへ

2012年6月1日に「社団法人」から「一般社団法人」へ移行しました。これは公益法人制度改革に基づくもので、新たな法人として従来行ってきました事業(受託事業等)に加え、公益目的事業を実施いたします。



ご案内

- [協会案内](#)
- [森林・林業に関する指導者育成研修会](#)
- [森林づくりリーダー養成研修会](#)
- [県民参加の森づくりに関する普及啓発事業](#)
- [みどりの集い](#)
- [普及図書等の配布](#)
- [施設及び周辺地域の調査事業](#)
- [山地災害から地域を守る集い\(講演会\)」の開催](#)
- [自主防災組織の育成事業](#)
- [森林・林業業務市町新任者基礎研修会](#)
- [治山・林道等に関する技術研修事業](#)
- [森林・山村多面的機能発揮対策交付金](#)
- [広島県森林協会報バックナンバー](#)
- [提名板案内](#)
- [リンク](#)
- [林業技士会](#)
- [林業・環境緑化写真コンクール](#)
- [業務リンク](#)

広島県森林協会からのお知らせ

- 「自主防災組織育成支援事業」4団体の採択を決定しました
[詳しくはこちら](#)
- 「山地災害から地域を守る集い」を開催しました
(6月21日(日)安芸高田市民文化センター)
[詳しくはこちら](#)
- 「森林・林業に関する指導者育成研修会」を実施しました
[詳しくはこちら](#)
- 「森林づくりリーダー養成研修会」を実施しました
[詳しくはこちら](#)
- 「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」
平成27年度の募集は終了しました

お問い合わせ

〒730-0012 広島市中区上八丁堀8番23号 一般社団法人 広島県森林協会

Te(082)221-7191 Fax(082)221-7194 URL:<http://www.hsk.ecweb.jp>

E-mail:honsho@hsk.ecweb.jp

Copyright Hiroshima Pref Forestry Association All rights reserved. [個人情報について](#)

『リンク』先の画面



[広島県森林協会ホーム](#)

市(14団体)

[広島市](#) [呉市](#) [竹原市](#) [三原市](#) [尾道市](#)
[福山市](#) [府中市](#) [三次市](#) [庄原市](#) [太田市](#)
[東広島市](#) [廿日市市](#) [安芸高田市](#) [江田島市](#)

町(9団体)

[府中町](#) [海田町](#) [能野町](#) [坂町](#) [安芸太田町](#)
[北広島町](#) [大崎上島町](#) [世羅町](#) [神石高原町](#)

関係団体リンク集

[広島県](#)
[広島県森林組合連合会](#)
[広島県土地改良事業団体連合会](#)
[財団法人広島県農林振興センター](#)
[広島県林業改良普及協会](#)
[広島県みどり推進機構](#)

業務書式集

[広島市](#) [呉市](#) [竹原市](#) [三原市](#) [尾道市](#)
[福山市](#) [府中市](#) [三次市](#) [庄原市](#) [太田市](#)
[東広島市](#) [廿日市市](#) [安芸高田市](#) [江田島市](#)
[府中町](#) [海田町](#) [能野町](#) [坂町](#) [安芸太田町](#)
[北広島町](#) [大崎上島町](#) [世羅町](#) [神石高原町](#)

[広島県](#)



[広島県森林協会ホーム](#)

森林協会往来

(一社) 茨城県治山林道協会では役員研修として、広島市土砂災害の復旧状況の調査のため、11月26日(木)に12名の皆さんが広島市に來られました。

当日は、「緑井・八木地区」の直轄砂防の区域を遠望した後、安佐北区可部町上原東山の「治山激甚災害特別緊急事業」の現地を調査され、西部農林林務第二課の岩間治山係長から、「災害発生当時の状況と既設谷止工が土砂流出を抑止していたこと、復旧工事の状況など」の説明を受け、熱心に調査をされました。



既設谷止工のコンクリート嵩上げ



土砂災害を食い止めた既設谷止工

森林協会等の今後の主な行事

開催年月日	行事名	開催場所
1月22日(金)	全森建常勤役員・事務局長等会議	東京 霞山会館
1月25日(月)	全国治山林道協会長会議	東京 ルポール麴町
2月10日(水)	(公社) 広島県みどり推進機構総会	メルパルク広島
4月18日(月)	都道府県森林土木コンサルタント 連絡協議会理事会・総会	東京 海運クラブ
5月中旬	平成27年度広島県森林協会 第3回理事・役員会	広島市
6月下旬	平成28年度広島県森林協会 第1回理事・役員会	広島市
7月上旬	広島県森林土木建設事業促進協議会 第33回通常総会	広島市
7月下旬	平成28年度広島県森林協会 定時総会	広島市